

ニフクラ OVM
(Oracle Database 利用環境)
サービス仕様書

2024 年 2 月 14 日（第 2.1 版）

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

目次

1. サービス概要	3
1.1. サービスの定義	3
1.2. サービスの特徴	3
1.3. サービスの全体像	4
2. サービス詳細/	5
2.1. 基本サービス	5
2.2. 本サービスの内容	6
2.3. 本サービス利用上の注意点	11
2.4. システム構成	13
2.5. 責任範囲	15
2.6. 品質保証制度（SLA）	15
2.7. セキュリティポリシー	15
3. 禁止事項／制限事項／メンテナンス	16
3.1. 禁止事項	16
3.2. 制限事項	16
3.3. メンテナンス	17
4. サポート窓口	19
4.1. 導入相談に関する窓口	19
4.2. トラブルに関する窓口	19
5. 申し込み手続きと利用ページ	20
5.1. ニフクラお申し込み	20
5.2. 本サービスのご利用	20
6. 改訂履歴	21

※ 本仕様書は、記載時点のサービス内容に基づいて説明しています。富士通クラウドテクノロジーズは、本サービスの仕様を予告なく変更することがあります。

※ 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

1. サービス概要

1.1. サービスの定義

ニフクラ OVM サービス（以下、本サービスと言います）は、富士通クラウドテクノロジーが構築した、Oracle Database ライセンスの BYOL (Bring Your Own License) が可能な環境をご利用いただく、IaaS です。本サービスの利用者は、Oracle Database ライセンスを持ち込むことができる仮想サーバー（以下、サーバーと言い、物理ホストとは区別して説明します）を所定の方法で作成し、そのサーバーに Oracle Database をインストールしてご利用いただくことができます。本サービス環境は、ニフクラパブリック・ニフクラプライベートリージョン・その他のニフクラサービス環境（以下、各環境を合わせてニフクラ環境と言います）とは異なる仮想化基盤 (Oracle VM・Oracle Linux Virtualization) を用いて、構築・運用されています。

1.2. サービスの特徴

1.2.1. サービスの利用方法

本サービスでは、ニフクラ環境で提供しているようなコントロールパネルを用意しておりません。各サービスメニューについては WEB フォームより申請し、作業状況に応じたメールによる指示・確認作業を行っていただく必要があります。

1.2.2. ユーザー環境の分離

対象となるサーバーは、ニフクラ環境と同じく、複数のユーザーが利用する共用環境上に作成されますが、ニフクラ環境からプライベート LAN 経由でのみ接続が可能な環境であり、ユーザー別に分離されたネットワーク環境で提供します。

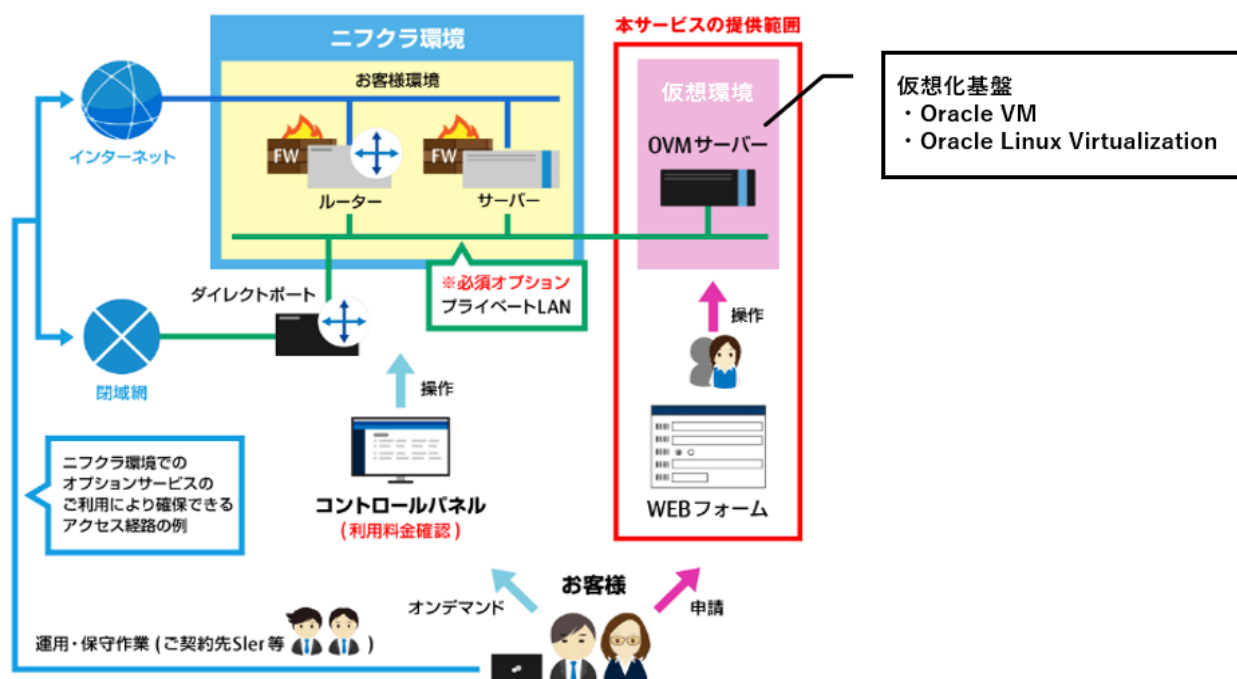
ニフクラ環境のプライベート LAN のご利用は必須条件となりますので、事前にご用意の上、サーバー作成を申請してください。

1.2.3. ニフクラ環境との連携

本サービスのサーバーに接続されたプライベート LAN に、ニフクラ環境上に作成したサーバーやネットワークサービスを接続することができます。WEB サーバーや APL サーバー等をニフクラ環境上に配置し、本サービスで作成した DB サーバーと接続できることはもちろん、ルーターやダイレクトポートといった各種ネットワークサービスと連携することで、さまざまな形式のネットワーク経路を確立することが可能になります。

1.3. サービスの全体像

本サービスの全体像は次の図の通りです。



本サービスの提供範囲のみでは、外部のネットワークと接続することができません。必ず、ニフクラ環境の「プライベート LAN」をご利用の上、アクセス経路を確立して下さい。

上記の全体像では、本サービス上のサーバー (OracleDB サーバー) に、インターネットや閉域網経由でのアクセス、並びにニフクラ環境上のサーバーと接続する例を図示しています。このように、本サービス上のサーバーのご利用シーンでは、接続した「プライベート LAN」上で、ニフクラ環境のサービスと組み合わせて利用する形態が前提となります。

2. サービス詳細/

2.1. 基本サービス

機能	概要	備考
リージョン	本サービスが提供されているリージョンを選択いただけます。ご指定いただいたリージョン内にあるお客様のニフクラ環境と本サービス環境とを、プライベート LAN にて接続します。利用可能なリージョンの詳細は、パブリックリージョンの場合はこちらの「ニフクラ ゾーン別対応表 (https://pfs.nifcloud.com/service/zone_table.htm)」よりご確認ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象リージョン内であれば、どのゾーンからでも接続できます。 ・プライベート LAN のご利用が必須となります。 ・プライベート LAN 上に、ニフクラ環境の各種ネットワークサービスを接続できます。
WEB フォーム	各サービスメニューは、所定の WEB フォームよりお申し込みください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用の前に、サービス申し込みをしていただく必要があります。 ・ニフクラ ID は、既存のものをお使いいただけます。
利用料金確認	利用料金の実績確認については、ニフクラ環境のコントロールパネルでご確認ください。当月の料金は翌月以降に表示され、翌々月に請求されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・各サービスの料金表は別紙 1 に記載します。

2.2. 本サービスの内容

2.2.1. サービスメニュー

本サービスで提供するサービスメニューは、以下の通りです。

- ① サーバー新規作成
- ② サーバー停止・起動
- ③ サーバー再起動
- ④ サーバー削除
- ⑤ サーバースペック・設定変更
- ⑥ ディスク追加/拡張
- ⑦ 設定状況確認
- ⑧ スタンバイサーバー新規作成
- ⑨ スタンバイサーバー更新
- ⑩ スタンバイサーバーへの切替
- ⑪ スタンバイサーバー削除
- ⑫ RAC・SEHA 向け設定サーバー再作成

それぞれのサービスメニューは、WEB フォームから申請していただくことで作業を承ります。
各サービスメニュー別の申請から作業完了までのフローは以下のようになります。



リードタイム・必要営業日：

15営業日以内を目安に対応します。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

② サーバー停止・起動

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

ベストエフォートで対応します。お申し込み受領後1時間以内の着手が目安となりますが、状況によってはお時間を頂く場合もあります。

申請時には、あらかじめアプリケーションおよびRDBMSを停止させておいてください。

【注意】Windows Server において標準の暗号化機能「BitLocker」をご利用の場合、申請前に必ず一時停止保護機能を用いてドライブの保護を解除頂くようお願い致します。(2.3 本サービス利用上の注意点に後述します。)

③ サーバー再起動

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

ベストエフォートで対応します。お申し込み受領後 1 時間以内の着手が目安となりますが、状況によってはお時間を頂く場合もあります。

申請時には、あらかじめアプリケーションおよび RDBMS を停止させておいてください。

※2023 年 5 月 31 日以降で新規サーバを作成いただいた環境に関しましては、お客様の OS 側から再起動いただく事が可能です。

【注意】Windows Server において標準の暗号化機能「BitLocker」をご利用の場合、申請前に必ず一時停止保護機能を用いてドライブの保護を解除頂くようお願い致します。(2.3 本サービス利用上の注意点に後述します。)

④ サーバー削除

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

5 営業日以内を目安に対応します。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

作業に先立ち、あらかじめアプリケーションおよび RDBMS を停止させておいてください。

⑤ サーバースペック・設定変更

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

5 営業日以内を目安に対応します。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

作業に先立ち、作業予定日時をご提示いたします。作業時にサーバーを停止いたしますので、予定日時までの間にあらかじめアプリケーションおよび RDBMS を停止させておいてください。

⑥ ディスク追加/拡張

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

5営業日以内を目安に対応します。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

作業に先立ち、作業予定日時をご提示いたします。作業時にサーバーを停止いたしますので、予定日時までの間 にあらかじめアプリケーションおよび RDBMS を停止させておいてください。

【注意】 Windows Server において標準の暗号化機能「BitLocker」をご利用の場合、申請前に必ず一時停止保護機能を用いてドライブの保護を解除頂くようお願い致します。(2.3 本サービス利用上の注意点に後述します。)

⑦ 設定情報確認

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

3営業日以内を目安に対応します。

⑧ スタンバイサーバー新規作成

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

5営業日以内を目安に対応します。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

作業に先立ち、作業予定日時をご提示いたします。作業時にサーバーを停止いたしますので、予定日時までの間 にあらかじめアプリケーションおよび RDBMS を停止させておいてください。

【注意】 Windows Server において標準の暗号化機能「BitLocker」をご利用の場合、申請前に必ず一時停止保護機能を用いてドライブの保護を解除頂くようお願い致します。(2.3 本サービス利用上の注意点に後述します。)

⑨ スタンバイサーバー更新

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

5 営業日以内を目安に対応します。

作業に先立ち、作業予定日時をご提示いたします。作業時にサーバーを停止いたしますので、予定日時までの間 にあらかじめアプリケーションおよび RDBMS を停止させておいてください。

⑩ スタンバイサーバーへの切替

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

ベストエフォートで対応します。お申し込み受領後 1 時間以内の着手が目安となりますが、状況によってはお時間を頂く場合もあります。

作業時に作成元のサーバーが停止し、作業完了以後は作成元サーバー（以下、「主系」と記載）とスタンバイサーバーの扱いが入れ替わります。

【注意】 Windows Server において標準の暗号化機能「BitLocker」をご利用の場合、申請前に必ず一時停止保護機能を用いてドライブの保護を解除頂くようお願い致します。（2.3 本サービス利用上の注意点に後述します。）

⑪ スタンバイサーバー削除

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

5 営業日以内を目安に対応します。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

⑬ RAC・SEHA 向け設定サーバー再作成

作業フロー：



リードタイム・必要営業日：

1 5 営業日以内を目安に対応します。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

作業時に作成元のサーバーが停止され、再作成されたサーバーの引き渡し完了後に削除されます。

【注意】Windows Server において標準の暗号化機能「BitLocker」をご利用の場合、申請前に必ず一時停止保護機能を用いてドライブの保護を解除頂くようお願い致します。

(2.3 本サービス利用上の注意点に後述します。)

2.2.2. 選択可能なサーバータイプ、ディスク、OS 種別

本サービスで提供するサーバータイプ、ディスク、OS の種別は、別紙 2 の通りです。

2.2.3. オプションメニュー

2.2.1. サービスメニューの①サーバー新規作成をご利用時には、以下のオプションメニューを同時にお申し込みいただくことができます。なお、これらのオプションメニューを選択されると、別紙 1 に記載の費用が追加で発生します。

(a) サーバーセパレート

Oracle RAC・SEHA を構築する場合、本オプションの選択が必須となります。サーバーセパレートが指定されたそれぞれのサーバーは、サービス環境内の異なる物理サーバーで稼働します。Oracle RAC・SEHA の用途以外でも、必要に応じて本オプションをご利用いただくことが可能です。

(b) Oracle RAC・SEHA 向けディスク・ネットワーク設定

Oracle RAC・SEHA を構築する場合、本オプションの選択が必須となります。2 台のサーバーから同時に参照できる共有ディスク、並びにサーバー間接続を行うインターコネクトを作成します。本オプションを設定する場合、プライベート LAN を新たにもう一本ご用意ください。

それぞれのオプションサービスは、2.2.1. ①サーバー新規作成をお申し込みの際に、同時にオプション選択をしていただくことで作業を承ります。オプション選択時の申請から作業完了までのフローは、2.2.1. ①サーバー新規作成のものと同じですが、作業時間については、サーバー新規作成に必要な営業日に 3 営業日を加えた日数を目安に対応いたします。ただし、お客様の承認に要する時間は除きます。

2.2.4. スタンバイサーバー

2.2.1. サービスメニューの①サーバー新規作成で作成したサーバーを主系として、スタンバイサーバーを作成することが出来ます。スタンバイサーバーは、主系の複製として作成され、スタンバイサーバーへの切替が申し込まれるまでは電源停止状態で保持されます。主系のスペック・ディスク容量変更時にはスタンバイサーバーも追従して変更されますが、OS 領域以上の設定やデータは作成された時点のものを保持し、サービスメニューの⑨スタンバイサーバー更新を申

し込むことで更新されます。なお、スタンバイサーバーを作成すると、別紙 1 に記載の費用が追加で発生します。

2.2.5. RAC・SEHA 向け設定サーバー再作成

2.2.3. オプションメニューの(b)Oracle RAC・SEHA 向けディスク・ネットワーク設定を行って作成したサーバーに限り、再作成を行うことが出来ます。RAC や SEHA を構成しているサーバーにトラブルが生じ、片系サーバーを作り直す必要がある場合は、こちらのメニューをご利用ください。なお、払い出されるサーバーは、申請されたサーバーと同じ CPU・メモリ・ディスク容量で作成され、仮想化基盤上での仮想サーバー起動が正常に完了したことを確認の上でお引渡しいたします。DB の再構成や製品のインストールなど OS 領域以上の作業は、お客様にて実施してください。また、お客様にて再作成されたサーバーの受領を確認頂いた後、申請元のサーバーは削除されます。

2.3. 本サービス利用上の注意点

- サーバー新規作成時には、申請時に申告していただくプライベート LAN、並びにインターコネクトを利用した場合はインターコネクトに接続されたサーバーが払い出されます。どのような経路でこのプライベート LAN にアクセスするかは、お客様側で事前にネットワーク設計の上、接続経路を確立させておいてください。ネットワーク構築にあたっては、ニフクラ環境で提供する各種ネットワークサービスをご利用いただけます。
- サーバー新規作成時、1 本目のディスクはご希望容量のサイズからシステム領域におよそ 100GB 割り当てられ、残り領域は未使用領域の状態となります。例えば Oracle Linux で 200GB お申し込みの場合、システム領域 (/boot、/、swap) に 100GB 程度が割り当てられ、残りは未割り当てとなります。また、2 本目のディスクは接続のみ実施しております。お客様のご都合に合わせて適切な方法にてご利用ください。
- サーバー作成後の各種お申し込みには、サーバー引き渡し時に連絡されるサーバー名が必要となります。このサーバー名はお客様からのご依頼を管理するために用いており、変更できません。なお、OS ホスト名はお客様にてご自由に変更いただけます。
- 本サービスで提供する機能のみではインターネット接続はできません。インターネット接続を行う必要がある場合、ニフクラ環境にて提供しているルーター機能と組み合わせるといった手法にてご対応ください。
- サーバーを停止・起動するためには、WEB フォームからのお申し込みが必要となります。OS 上からサーバー停止・起動の操作を行うと、操作前に稼働していた物理ホストとは別の物理ホスト上で起動され、それを元の物理ホストへ戻すために、再度サーバーの停止を伴うメンテナンス作業が必要になる可能性があるため、実施しないでください。（WEB フォームからお申し込みいただいた場合、同じ物理ホスト上で停止・起動を行います。）
- サーバー停止・再起動、もしくは停止を伴うサービスメニューを申請いただいた場合であっても、OVM サーバーの動作状況によっては正常に停止が出来ない場合があります。通常の停止から 10 分経過後に応答がない場合、仮想化基盤から強制停止いたします。

- Windows Server において標準の暗号化機能「BitLocker」をご利用の場合、申請前に必ずドライブの保護を解除頂くようお願い致します。「2.5 責任範囲」に記載の通り、BitLocker の PIN 入力に関しては弊社での操作が出来ない為、予め保護を解除の上申請をお願い致します。
(参考) Microsoft : <https://learn.microsoft.com/ja-jp/troubleshoot/windows-client/windows-security/suspend-bitlocker-protection-non-microsoft-updates>
- サーバー停止時に強制停止が実行された場合、OVM サーバーの動作状況によってはファイルの破損等が生じる可能性があります。その場合、ファイルの復旧はお約束出来かねますので、あらかじめご承知ください。
- カーネルパニック等の OS 障害が原因でサーバーが停止・再起動した場合にも、元の物理ホストとは別の物理ホスト上でサーバーが起動する場合があります。この場合にも、元の物理ホストへ戻すために、再度サーバーの停止を伴うメンテナンス作業が発生します。
- OS 上での操作によるサーバー再起動は実施いただけます。ただし、仮想化基盤によりサーバー停止と見なされた場合は、HA 機能が発動し、元の物理ホストとは別の物理ホスト上でサーバーが起動する場合があります。この場合、元の物理ホストへ戻すために、サーバーの停止を伴うメンテナンス作業が発生します。
- サーバー新規作成時に、お客様の環境と通信ができないネットワーク設定をご指定された場合でも、ご指定の設定でのサーバー作成を優先いたします。申請の際には、記載内容をよくご確認の上、ご申請ください。
- サーバー新規作成時に設定した IP アドレスや、ネットワークに関する設定変更（インターコネクト用のものを除く）は行わないでください。お客様側で設定変更を行った場合、サーバーに接続できなくなる可能性があります。
- インターコネクト用ネットワークは、IP アドレスを自動的に取得する設定で作成いたします。お客様の DB 構成や運用に合わせ、適切な設定に変更の上ご利用ください。
- インターコネクト用ネットワークは RAC・SEHA を構成する上で必要となる帯域幅を有していますが、物理的に共用している NIC の利用状況によっては一時的に下回る可能性があります。
- スタンバイサーバーの設定は、主系のサーバーと同じ設定となります。
- 主系とスタンバイサーバーの切替を行った場合、主系サーバーの電源が停止した後にスタンバイサーバーが起動します。起動時点でスタンバイサーバーは主系に昇格し、主系はスタンバイサーバーに降格します。
- スタンバイサーバーは、IP アドレスやログインに必要となる情報も主系と同一になります。切替により主系へ昇格した後のログインは、切替前の主系と同じ手法・同じ情報（パスワード、サーバー名等）で行ってください。
- 主系のサーバーと、その主系から作成されたスタンバイサーバーが同時に起動することではなく、必ずいずれかのサーバーのみが起動した状態となります。
- 主系のサーバータイプ・ディスク本数・ディスク容量を変更した場合、その主系から作成されたスタンバイサーバーのサーバータイプ・ディスク本数・ディスク容量も変更され、合わせて料金も変更されます。

- ・ スタンバイサーバー作成後に主系のディスク本数を変更した場合、その主系から作成されたスタンバイサーバーのディスク本数も変更されますが、ディスクの初期化は行われません。主系でディスクの設定を行った後、スタンバイサーバー更新を行ってください。
- ・ Oracle RAC・SEHA 向けディスク・ネットワーク設定を行ったサーバーからは、スタンバイサーバーを作成することが出来ません。
- ・ サーバーの起動、サーバーの再起動、スタンバイサーバーへの切替は「2.5. 責任範囲」に基づき、仮想化基盤上での仮想サーバー起動が正常に完了したことを確認の上でお引渡しいたします。OS 以上の起動状態の正常性はお客様責任の元でご確認いただきます。
- ・ サーバートラブル時など、主系サーバーが利用できない状況でスタンバイサーバーへの切替を行った場合、切替後のスタンバイサーバー（降格した旧主系サーバー）は正常に利用できない可能性があります。切替後、適切なタイミングでの削除、もしくはスタンバイサーバーの更新を実施してください。
- ・ 主系を削除した場合、スタンバイサーバーも合わせて削除されます。
- ・ Oracle Database をはじめとした OS 上のミドルウェアやアプリケーションの停止・起動作業は、お客様にて実施してください。
- ・ 本サービス上において、ニフクラ環境のファイアウォール機能はご利用頂けません。本サービス基盤上のサーバーについては、お客様ご自身で iptables 等のセキュリティ対策を実施してください。
- ・ ニフクラ環境の各サービスに関する仕様、制限事項については、以下の各サービス詳細に記載の通りとなります。本仕様書と異なる場合は、本仕様書が優先されます。また、オプションサービスをご利用の場合、別途利用料金が発生します。

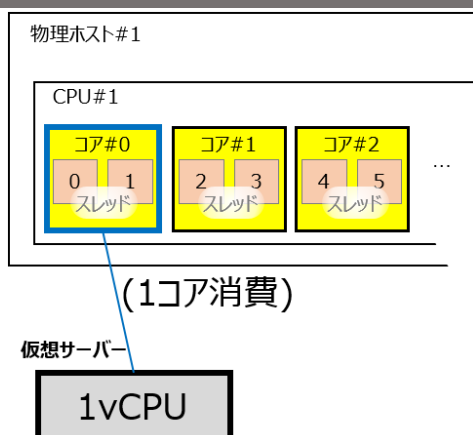
➤ ニフクラ 機能・サービス

<https://pfs.nifcloud.com/service/>

2.4. システム構成

2.4.1. 本サービスの物理基盤について

仮想 CPU (vCPU) の割り当て方法

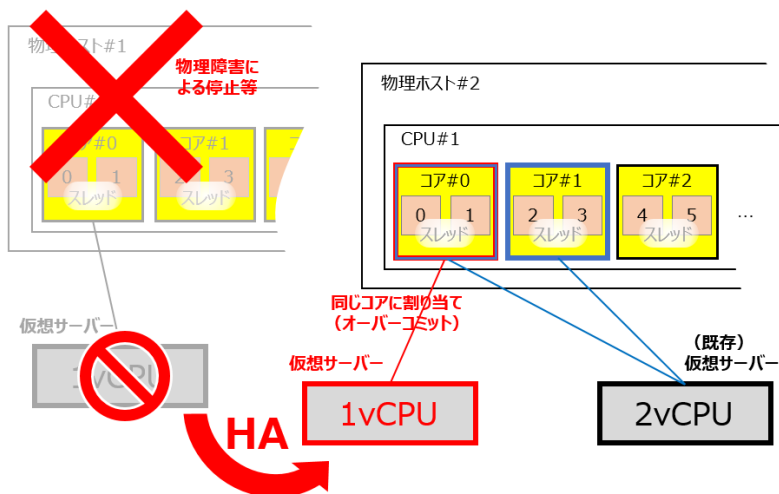


本サービスでは、Oracle VM を、Oracle Partitioning Policy(※)に準拠する形で、Hard Partitioning テクノロジーとして設定・使用しています（仮想 CPU (vCPU) 1つあたり物理 CPU コア 1つを割り当てます）。なお、オラクル製品以外が要求する Hard Partitioning には合致しない可能性もございます。

また、物理ホストでは、ハイパースレッディング機能が ON になっています。このため、スレッド数を CPU 数として表示する OS 上から見た場

合に、本サービスで選択したサーバーの vCPU 数より多くの CPU 数が表示される場合があります。

HA 機能について



本サービスでは、HA 機能を標準提供します。HA が発動すると、故障した物理ホストとは別の物理ホスト上に仮想サーバーが自動で移動します。移動する前段階で、仮想サーバーは一旦強制終了した状態となり、移動後には新しい物理ホスト上で自動的に OS が起動します。別の物理ホストに移動した際、既に他の仮想サーバーに割り当てられているコアに上乗せする形でコアが割り当てられる場合があります。どの物理ホストに移動するかはシステムが自動で判断するため、移動先の物理ホストを指定することはできません。

また、HA 発生後には、移動した仮想サーバーを元の構成に戻すためのメンテナンスが発生します。このメンテナンスの際、もう一度仮想サーバーの停止・起動操作が行われます。

※ <https://www.oracle.com/assets/partitioning-jp-168078-ja.pdf>

(こちらは 2021 年 3 月 24 日時点の情報です。)

2.4.2. BYOL に必要となる Oracle Database ライセンス数について

本サービス環境には、Oracle Database 製品のライセンスを持ち込んでいただくことができます。Enterprise Edition、Standard Edition、Standard Edition One、Standard Edition2 のいずれのエディションのライセンスでもご利用いただけます。各エディションで必要となるライセンス数、並びに対応する Oracle Database バージョンは、別紙 3 の通りです。

2.5. 責任範囲

本サービス開始後の主な運用・保守作業をお客様の作業と富士通クラウドテクノロジーズの作業に分けて、定義します。

レイヤー	主な運用・保守作業	責任
アプリケーション ／ミドルウェア	アプリケーション／ミドルウェアのバックアップ運用・管理	お客様
	アプリケーション／ミドルウェアの入れ替え	
	セキュリティ対策を含めたアプリケーション／ミドルウェアに関するメンテナンス	
仮想サーバー上の OS (ゲスト OS)	OS のバックアップ運用・管理	富士通クラウド テクノロジーズ
	セキュリティ対策を含めた OS に関するメンテナンス	
	払出時点での、一般的な利用の範囲内である OS 操作の正常性（例：Windows Update など）	
	ニフクラ基準によるデフォルト設定 OS の提供	
仮想サーバー	仮想サーバーの作成・スペック変更など各種操作	富士通クラウド テクノロジーズ
ハードウェア	ハードウェア機器のファームアップ作業	
	ハードウェア機器の入れ替え	
	ハードウェア機器の障害対応	

2.6. 品質保証制度（SLA）

本サービスで提供する基盤環境は SLA の対象外となります。

2.7. セキュリティポリシー

富士通クラウドテクノロジーズは、ホームページにて情報セキュリティに対する取り組みを紹介しています。

本サービスも、「個人情報の保護」や「情報セキュリティポリシー」について同等の基準で運営しています。また、第三者からのクラウドセキュリティに関する公的な認証も取得しております。

- 安心・安全への取り組み

<https://fjct.fujitsu.com/about/safety/index.html>

- ニフクラ セキュリティへの取り組み

<https://pfs.nifcloud.com/security/>

3. 禁止事項／制限事項／メンテナンス

3.1. 禁止事項

ニフクラの禁止事項に準じます。

- **ニフクラ禁止事項**

<https://pfs.nifcloud.com/service/rule.htm>

以下の場合も、禁止行為に該当する行為が行われた場合と同様に取り扱います。

- お客様による本サービスの利用に関し、第三者から当社らに対して通報・クレーム等があった場合。
- 著しい量のトラフィックを発生させたとき。
- その他、富士通クラウドテクノロジーズが本サービスの運営上不適当であると判断した行為をユーザーが行った場合。

3.2. 制限事項

本サービスの制限事項は、以下の通りです。

- 本サービスは、オラクル社のライセンス体系・規約に従って構築・運用されており、サービス提供形態やシステム構成、BYOL 時に必要なライセンス数等については、オラクル社確認済みとなります。（2019 年 9 月時点）。ただし、今後オラクル社のライセンス内容について、本サービスに影響を及ぼす変更が行われた場合には、本サービスもそれに準拠する形で、サービス仕様の変更・廃止を行います。
- Oracle Database ライセンスの BYOL が可能になるのは、あくまでも本サービスで提供する環境上にあるサーバーのみです。本サービスに申し込んだとしても、ニフクラ環境上のサーバーに、オラクル社の許可なく Oracle 製品のライセンスを持ち込むことはできません。
- 料金表示を除き、ニフクラ環境のコントロールパネルとは連携しておりません。このため、コントロールパネルによるオンデマンドでのサーバー新規作成やサーバー再起動等の操作は不可となります。これらの操作をご希望の場合は、都度、所定の WEB フォームよりお申し込みください。
- 本サービスのご利用には、ニフクラ環境のプライベート LAN が必須となります。本サービスで用意するサーバーは、事前に用意いただいたプライベート LAN 経由でのみ接続できます。接続する環境や方式によって、プライベート LAN の他にも、追加でオプションが必要になる場合があります。
- 本サービスでは、無償で HA 機能を提供します。HA が発動した後は、元の物理ホストへ戻すために、サーバーの停止を伴うメンテナンス作業が発生します。これは、オラクル社のライセンス上の規約による制限のため、ライブマイグレーションといったご要望にお応えすることはできません。
- サーバー削除を依頼された場合、そのサーバーに接続されているディスクも同時に削除します。削除されたディスクおよびそこに保存されていたデータは、いかなる場合も復元できませんのでご注意ください。

- 新規サーバー作成時にサーバーセパレート設定のお申し込みを頂いた場合を除き、既存のサーバーとは異なる物理ホストへ配置する等、物理環境上の配置状態をお客様側で指定することはできません。
- 本サービスには、お客様に払い出すことのできるリソースに上限が存在します。このため、各サービスメニューのお申し込みをいただいた際、リソース状況によっては、お待ちいただく場合があります。
- 障害が発生した際には、ニフクラ環境に準じた形で告知を行います。報告書等のその他の形式での報告には応じかねますのでご了承ください。
- 本サービスは、IaaS 基盤を提供するサービスとなるため、DB のインストールやバックアップ環境の構築、およびそれらの運用に関する設計・作業については、お客様側での対応をお願いします。なお、お客様での対応が難しい場合、当社よりマネージドサービス提供事業者をご紹介します。
- 本サービスでは、データバックアップを取得しておりません。データの保全は、お客様ご自身にて実施いただく必要があります。

3.3. メンテナンス

3.3.1. メンテナンスの実施

本サービスの品質基準の保持やサービスメニューの拡張を目的として、所定の実施ルールに従ってメンテナンスを行います。

メンテナンスを行う際に、お客様サーバーの停止を伴う場合があります。サーバーはお客様にて停止いただく必要はありませんが、データベースは整合性維持の観点から、メンテナンス期間の前後において、お客様作業にて停止・起動するようお願いいたします。なお、通常の停止作業から 10 分経過後に応答がない場合、仮想化基盤からサーバーを強制停止いたします。また、メンテナンス日時の指定、変更はお受け出来ませんのでご了承ください。

メンテナンスを実施する場合には、60 日前に事前連絡をします。ただし、3.3.2 に記載する緊急時の対応については、その限りではありません。また、個別の通知ルール作成はできません。メンテナンスの実施日時、並びにメンテナンスに伴う影響情報の提供については、お客様のサーバーがメンテナンスの対象となる場合に、その時点のお客様を対象に告知されます。

3.3.2. 緊急時の対応について

機器故障時など、サービスを安全に提供する上で当社が必要だと判断した場合は、緊急でのメンテナンスを実施いたします。その場合、作業直前もしくは、メンテナンス実施後の告知となる場合があります。

機器故障の場合は、以下の影響が発生します。

- サーバー機器

原則として HA が発動し、お客様のサーバーは別のハードウェアにて再起動されます。

HA の発動後、HA からの完全復旧を目的として、発生から 2 営業日後にメンテナンスを行います。

す。実施時間は、サーバー新規作成およびサーバースペック・設定変更のお申込み時に指定いただく時間帯（13:00～16:00、または 20:00～23:00 のいずれか指定された方）となります。例外として、HA 発動後の状況が当社として緊急対応を要すると判断された場合、もしくは HA 発動は回避されているものの、機器を早急に交換すべき状況であると当社が判断した場合は、お客様への安定したサービス提供のため、上記と異なるタイミングでメンテナンスを実施する場合がございます。メンテナンスの影響として、指定時間帯に仮想サーバー1 台あたり約 30 分程度のサーバー停止・起動が、原則として 1 回発生します。

- ストレージ機器：

障害発生時、もしくは障害からの復旧作業時に数十秒程度の I/O 遅延が発生する場合があります。発生回数は作業内容に応じ変動します。

- その他機器の故障：

本サービスを構成するサーバー・ストレージ以外の機器が故障した際にも何らかの影響が発生する場合がございます。

3.3.3. 機器更新時の対応について

本サービスの品質基準の保持を目的として、機器更新を計画しています。機器の更新時には、作業影響として以下の影響を想定しています。また、今後の状況によっては影響時間が変わる可能性があります。変更があった場合は別途当社が定める方法にてご連絡差し上げます。

- サーバー機器更新時：

機器更新を目的としたメンテナンス期間中に、仮想サーバー1 台あたり約 30 分程度のサーバー停止・起動が、原則として 1 回発生いたします。なお、スタンバイサーバー切替を行った場合でも、必ず停止・起動が発生いたします。

- ストレージ機器更新時：

機器更新を目的としたメンテナンス期間中に、仮想サーバー 1 台あたり約 30 分程度のサーバー停止・起動が、原則として 1 回発生いたします。なお、RAC 環境・SEHA などの手法によりお客様側でサーバーの冗長性を確保されている状態でも、共有ディスク部分について本影響の対象となります。

3.3.4. その他

メンテナンスについてのその他の仕様は、ニフクラのメンテナンスに準拠します。

- メンテナンスについて

<https://pfs.nifcloud.com/service/other.htm#maintenance>

4. サポート窓口

4.1. 導入相談に関する窓口

サービス仕様や料金に関するお問い合わせの窓口は以下の通りです。

- **WEB フォームからのお問い合わせ**
https://pfs.nifcloud.com/inquiry/sign_up.htm
- **お電話でのお問い合わせ**
0120-22-1200
受付時間：平日 9:00～17:45
受付は日本国内からのお電話のみとなります。
携帯電話、PHS からもご利用いただけます。

4.2. トラブルに関する窓口

ご利用中のお客様からのシステムトラブルに関するお問い合わせの窓口は以下の通りです。

- **WEB フォームからのお問い合わせ**
<https://pfs.nifcloud.com/inquiry/trouble.htm>
- **お電話でのお問い合わせ**
0120-97-2410
受付時間：24 時間 365 日
受付は日本国内からのお電話のみとなります。
携帯電話、PHS からもご利用いただけます。

5. 申し込み手続き

本サービスを利用するには、以下の申し込み手続きが必要となります。

5.1. ニフクラお申し込み

ニフクラお申し込みを、以下のページよりお手続きください。

- **ニフクラお申し込み**

<https://pfs.nifcloud.com/flow/>

なお、ニフクラを既に申し込まれている場合は、新規にニフクラお申し込みをしていただく必要はありません。既存のニフクラ ID を使って、本サービスをご利用ください。

5.2. 本サービスのお申し込み

本サービスは、以下のページよりお申し込みください。

- **ニフクラOVM 機能・仕様**

<https://pfs.nifcloud.com/service/ovm.htm>

お申し込み時に申請されたログイン ID（ニフクラ ID）にて、本サービスをお申し込みください。

6. 改訂履歴

版数	日付	変更内容
1.0	19/10/31	初版
1.1	20/1/29	メンテナンスに関わる表記を変更
1.2	20/3/11	再起動に関する仕様を変更
1.3	20/6/30	スタンバイサーバーに関する仕様を追加、メンテナンス告知期間を月単位から日付単位に変更
1.4	21/3/24	Hard Partitioning に関する記載を追加、サーバー再起動・ネットワークに関する注意点を追記
1.5	21/6/30	RAC・SEHA サーバー再作成を追加、SEHA についての記載を追加、メンテナンスの項を整理、ネットワークに関する注意点を追記、その他全般的な修正を実施
1.6	22/1/5	サーバー停止時における注意点到強制停止関連の記載を追加、作業時の予定日時提示に関する記載を追加、その他表現の修正を実施
2.0	23/5/31	後継基盤の導入に伴い、仕様を修正。
2.1	24/2/14	BitLocker 利用上の注意点を記載